

岩手県立中央病院医療事故の個別公表について

令和 3 年 12 月 20 日

事 案 の 概 要	発生年月日	平成 31 年 3 月
	状 況	平成 31 年 3 月、真珠腫の症例に際し鼓室形成術・乳突洞削開術後より顔面神経麻痺が出現。手術部位の骨が溶けて欠損していたことにより露出していた顔面神経を刺激したためと思われる。
	原 因	通常は骨で囲まれている顔面神経が、骨が溶けて露出しており、肉芽の中に顔面神経が埋もれていたため、肉芽を除去する際に神経を刺激したと考えられる。
再発防止策	真珠腫の症例に際しては乳突洞を削開する必要があるかなど、より詳細に対応を検討することとした。	